

## 教育学研究科教育学専攻（通信課程）学習の成果に係る評価基準

### 【成績の段階と評価結果】

成績の記号	評価（点数）	合否
Aまたは優	100点～80点	合格
Bまたは良	79点～70点	
Cまたは可	69点～60点	
Dまたは不可	59点以下	不合格

## 7. 通信制大学院 博士前期課程

### (1) 2018 年度開設科目

	研究領域	科目名	担当教員	受講方法	単位数	備考
教育学研究科目	授業研究領域	授業研究A (歴史・理論)	廣嶋 龍太郎	R T	4	
		授業研究B (実践・評価)	吉富 芳正	R T	4	
		授業研究C (情報教育)	今野 貴之	R T	4	
		授業研究D (教育社会学)	須藤 康介	R T	4	
		授業研究E (教育心理学)	杉本 明子	R T	4	
		授業研究F (教育行財政)	樋口 修資	R T	4	
	幼児教育研究領域	幼児教育研究A (保育)	齋藤 政子	R T	4	
		幼児教育研究B (児童文化)	羽矢 みずき	R T	4	
		幼児教育研究C (児童家庭福祉)	石田 健太郎	R T	4	
		幼児教育研究D (音楽教育)	板野 和彦	R T	4	
	障害児者教育研究領域	障害児者教育研究A (障害児者の学習・発達支援)	廣瀬 由美子	R T	4	
		障害児者教育研究B (障害児者自立支援)	島田 博祐	R T	4	
		障害児者教育研究C (小児保健)	星山 麻木	R T	4	
論文指導科目	授業研究領域	授業研究演習A (歴史・理論) 教育学演習 I a (15SK 以前入学者科目名)	廣嶋 龍太郎	S R	2	
		授業研究演習B (実践・評価) 教育学演習 I b (15SK 以前入学者科目名)	吉富 芳正	S R	2	
		授業研究演習C (情報教育) 教育学演習 I c (15SK 以前入学者科目名)	今野 貴之	S R	2	
		授業研究演習D (教育社会学) 教育学演習 I d (15SK 以前入学者科目名)	須藤 康介	S R	2	
		授業研究演習E (教育心理学) 教育学演習 I o (15SK 以前入学者科目名)	杉本 明子	S R	2	
		授業研究演習F (教育行財政) 教育学演習 I n (15SK 以前入学者科目名)	樋口 修資	S R	2	
		業研究演習G (生涯学習) 教育学演習 I l (15SK 以前入学者科目名)	—	S R	2	非開講
		授業研究演習H (基礎看護) 教育学演習 I m (15SK 以前入学者科目名)	大島 弓子	S R	2	
		幼児研究領域	幼児教育研究演習A (保育) 教育学演習 I e (15SK 以前入学者科目名)	齋藤 政子	S R	2
	幼児教育研究演習B (児童文化) 教育学演習 I f (15SK 以前入学者科目名)		羽矢 みずき	S R	2	
	幼児教育研究演習C (児童家庭福祉) 教育学演習 I h (15SK 以前入学者科目名)		石田 健太郎	S R	2	
	幼児教育研究演習D (音楽教育) 教育学演習 I g (15SK 以前入学者科目名)		板野 和彦	S R	2	

障害児者 教育研究 領域	障害児者教育研究演習 A (障害児者の学習・発達支援) 教育学演習 I i (15SK以前入学者科目名)	廣瀬 由美子	SR	2	
	障害児者教育研究演習 B (障害児者自立支援) 教育学演習 I j (15SK以前入学者科目名)	島田 博祐	SR	2	
	障害児者教育研究演習 C (小児保健) 教育学演習 I k (15SK以前入学者科目名)	星山 麻木	SR	2	
論文指導	教育学演習 (修士論文指導) 15SK 以前...教育学演習 II (修士論文指導)	論文指導教員		2	

## (2) 修了要件

博士前期課程の修了要件は、以下の通りです。

①2年以上在学していること。

②修得単位について、以下の条件を満たし、合計30単位以上修得していること。

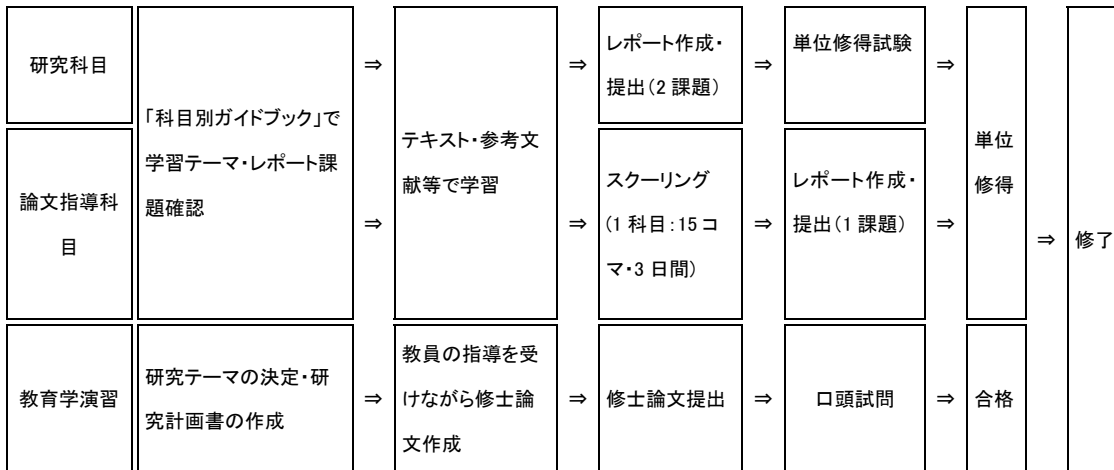
1)「教育学研究科目」より、論文指導教員の担当科目を含む同一研究領域から2科目(8単位)以上を修得し、合計5科目(20単位)以上を修得。

2)「論文指導科目」より、論文指導教員が担当する科目を含めて2単位以上を修得し、かつ「教育学演習(教育学演習II)」2単位を修得していること。なお、論文指導科目は、4科目(8単位)までが修了要件単位として算入される。

③学位論文を提出し、学位論文審査及び最終試験(口頭試問)に合格すること。



### (3) 修了までの流れ



### (4) 履修条件

- ① 単年度につき 28 単位まで履修登録できます。ただし、テキスト配本 (RT 科目及び SR 科目) は、2 年間で最大 44 単位分まで登録できます。
- ② 履修登録は年度ごとに行います。履修登録をして、年度内に単位を修得できなかった科目を翌年度に再履修する場合は、次年度も履修登録してください (試験やスクリーニングが合格していて、レポートが不合格の科目は含みません)。
- ③ 年度途中での追加履修は、原則としてできません。
- ④ 「教育学演習 (論文指導)」はテキスト配本がありません (テキスト配本単位の 44 単位に含まれません)。

### (5) 履修登録ガイド

- ① Web による履修登録はできません。
- ② 論文指導科目 (○○○研究演習) の履修が 4 科目 (8 単位) を超える場合、履修は可能ですが超過分は修了単位数として算入されません。
- ③ 入学初年度に履修上限である 28 単位を登録し、全て単位修得すると 2 年目は「教育学演習」(論文指導) 2 単位の履修と修士論文作成のみとなります。単位修得試験やスクリーニング日程も考慮の上、各自学習や研究のペース配分を考え、履修登録を行ってください。
- ④ 1 年目に 28 単位を単位修得すると 2 年目は 16 単位分までテキスト配本を受けることができます。  
「入学 2 年目のテキスト配本単位数 = 44 単位 - 初年度配本単位数」  
[例] 初年度 28 単位登録 → 2 年目 = (44 - 28) = 16 単位分のテキスト配本
- ⑤ 修了要件に関わる科目で、単位修得できなかった科目は、次年度再履修の登録を行ってください。  
[例] 初年度 28 単位登録し 16 単位修得 → 2 年目に再履修 12 単位を含めた 28 単位を履修する場合  
→ 再履修 12 単位 + 2 年目テキスト配本 14 単位 + 教育学演習 2 単位 = 28 単位

※初年度に単位未修得となった科目を再履修しない場合でもテキスト配本単位数の上限は44単位分です。

※2年目以降の履修は、最履修科目を含めて最大28単位までの登録となります。

※修了要件以上の単位修得は任意となります。

※新たな履修登録科目がない場合も履修届を提出してください。

#### (6) 教材配付

4月下旬	履修届提出	「履修届」に必要事項を記入し、郵送またはメール添付で提出
5月中旬～	教材発送	大学より登録科目のテキストを送付します。配付テキストの書名が登録科目の使用テキストと一致しているかどうか必ず確認してください。テキスト配本終了後、各自学習の開始となります。

#### (7) 他大学院で修得した単位の認定

学則第17条第1項の規定により、本学入学前に他大学院で修得した単位（科目等履修生で修得した単位を含む）について、本学通信制大学院で開設している授業科目に相当すると本学通信制大学院において判断した場合には、本学通信制大学院における授業科目の履修により単位を修得したものと認定することができます。

単位の認定を行うためには、申請手続が必要です。単位認定の可否については、学内手続きを経るため、申請より2～3ヶ月の期間を要します。

#### 【単位認定の申請手続（単位認定申請条件）】

- ①単位認定が申請できる科目は、博士前期課程では「教育学研究科目」、博士後期課程では「教育学特殊研究科目」です（演習科目の認定は不可）。
- ②学則上の認定単位数は最大10単位ですが、研究科目の開講単位は4単位のため、実質最大8単位（2科目）までが認定できる単位数となります。
- ③単位認定の申請は、履修届の提出時に、当該科目の単位を修得した大学院の成績証明書と当該科目のシラバス（講義要綱など科目の内容が明記された印刷物；コピー可）を提出してください。また、本学通信制大学院で単位認定を希望する授業科目名を指定してください。
- ④履修登録は、単位認定申請科目の単位数を含めて、博士前期課程28単位、博士後期課程16単位までです。
- ⑤単位認定の可否は、本学通信制大学院での審議を経て、書面で結果を通知します。

#### (8) スクーリング

演習（受講方法がSRの科目）は、スクーリング（面接授業）科目となります。年間で最大4科目まで履修することができます。なお、スクーリングの開講日程が重複している科目の中からは複数履修することはできません。

## ■実施時期

スクーリング名称	時期	レポート提出締切	結果通知時期
7月スクーリング	7月中旬 (3日間)	8月末日 (必着)	9月末日
夏期スクーリング(前半)	8月 (3日間)	9月末日 (必着)	10月末日
夏期スクーリング(後半)	8月 (3日間)	9月末日 (必着)	10月末日
冬期スクーリング	12月下旬 (3日間)	1月末日 (必着)	2月末日

## ■時間割 (全日程・全時間の出席が必要)

1コマ目	2コマ目	3コマ目	4コマ目	5コマ目
9:00～10:30	10:45～12:15	12:55～14:25	14:40～16:10	16:25～17:55

### ①受講手続き

年度始めの履修登録 (履修届の提出) により受講ができます。

### ②スクーリング事前送付書類

使用教室等の詳細は、実施の約2週間前に、事務局大学院担当より受講者に発送します。

### ③欠席

原則として、全日程・全時間の出席が必要です。**1コマまでの欠席は認められますが、1コマ以上の欠席がある場合は、単位認定されません。**諸事情によりスクーリングの受講が出来ない場合は、授業開始前までに事務局大学院担当へご連絡ください。

### ④スクーリング科目のレポート提出

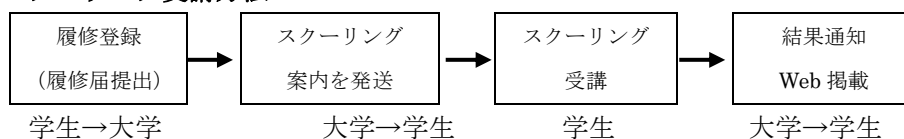
- 1) スクーリング受講科目は、**1通 (2単位分) を期限までに提出することが必要です。**  
**レポートの提出は事務局に提出**してください。
- 2) レポート締切日までに、**当該レポートが提出されなかった場合は、スクーリングの評価が無効**となります。
- 3) **レポート締切は、受講月の翌日末必着**です。変更が生じる場合もありますので、詳細は部報「めいせい」にてご確認ください。

### ⑤受講結果通知

スクーリング受講月の翌々月末に、受講結果を StarWeb ログイン後の学習状況照会に表示します。スクーリング評価はスクーリングの受講と受講科目のレポートによる総合評価となります。

合格	優 (A)	100～80点
	良 (B)	79～70点
	可 (C)	69～60点
不合格	不可 (D)	59～0点
否	面接授業の出席日数不足	
欠席	面接授業の全日程欠席	

### ⑥スクーリング受講方法



## (9) 専修免許状

博士前期課程は、教育職員免許法（昭和 24 年法律第 147 号）第 5 条別表第 1 備考第 5 号イに規定する、教員の免許授与の所要資格を獲得するための大学院課程として認定を受けています。（課程認定適用開始：平成 11 年 4 月 1 日）

### 【専修免許状の取得方法】

#### ①大学院を修了し、所定の単位を取得して専修免許状を取得する場合

研究科目（4 単位）を 6 科目 24 単位以上履修し、単位を修得してください。但し、基礎となる教員免許状（1 種教員免許状）を、第 5 条別表 1 により取得した方に限ります。

所有する免許状	取得可能な免許状
幼稚園教諭 1 種免許状	幼稚園教諭専修免許状
小学校教諭 1 種免許状	小学校教諭専修免許状
中学校教諭 1 種免許状（社会）	中学校教諭専修免許状（社会）
高等学校教諭 1 種免許状（地理歴史、公民）	高等学校教諭専修免許状（地理歴史、公民）

1989 年 3 月以前に、教員免許状を取得した場合は、その免許状は各 1 種免許状に該当します。

幼稚園・小学校・中学校；一級普通免許状 高等学校；二級普通免許状

#### ②教育職員免許法施行規則第 10 条の 6 により専修免許状を取得する場合

前項①に掲げる校種（高等学校を除く。）、教科の免許状を所持している場合、教育職員免許法施行規則第 10 条の 6（以下「第 10 条の 6」という。）で取得する方法があります。第 10 条の 6 で取得する場合は、勤務している都道府県教育委員会（免許状授与権者）の指導を受けてください。

※高等学校教諭 1 種免許状からの上申は、適用されません。また、本学通信制大学院では、開設科目の関係から、第 10 条の 6 による 2 種免許状から専修免許状への上申はできません。

#### ③教育職員免許法第 6 条別表第 3 により専修免許状を取得する場合

幼稚園、小学校、中学校、高等学校の 1 種免許状を所持し、その該当する学校等で実務が 3 年以上ある場合は、専修免許状を教育職員免許法第 6 条別表第 3（以下「別表第 3」という）で取得する方法があります。別表第 3 で取得する場合は、勤務している都道府県教育委員会（免許状授与権者）の指導を受けてください。

教員免許の申請は、□～□のいずれの場合も個人申請（各自が教育委員会に免許状を申請）になります。申請手続きは、勤務する学校を所管する都道府県教育委員会（免許状授与権者）に問い合わせてください。

## 8. 通信制大学院 博士後期課程

### (1) 2018 年度開設科目

	研究領域	科目名	担当教員	受講方法	単位数	備考
教育学特殊研究科目	授業研究領域	授業特殊研究A (歴史・理論)	廣嶋 龍太郎	R T	4	
		授業特殊研究B (実践・評価)	吉富 芳正	R T	4	
		授業特殊研究C (情報教育)	—	R T	4	非開講
		授業特殊研究D (教育社会学)	—	R T	4	非開講
		授業特殊研究E (教育心理学)	杉本 明子	R T	4	
		授業特殊研究F (教育行財政)	樋口 修資	R T	4	
	幼児教育研究領域	幼児教育特殊研究A (保育)	齋藤 政子	R T	4	
		幼児教育特殊研究B (音楽教育)	板野 和彦	R T	4	
		幼児教育特殊研究C (児童家庭福祉)	垣内 国光	R T	4	
		幼児教育特殊研究D (児童文化)	羽矢 みずき	R T	4	
	障害児者教育研究領域	障害児者教育特殊研究A (障害児者の学習・発達支援)	—	R T	4	非開講
		障害児者教育特殊研究B (障害児者自立支援)	島田 博祐	R T	4	
		障害児者教育特殊研究C (小児保健)	星山 麻木	R T	4	
論文指導	教育学特殊演習 I、II、III	廣嶋 龍太郎			各 4	
	教育学特殊演習 I、II、III	吉富 芳正			各 4	
	教育学特殊演習 I、II、III	杉本 明子			各 4	
	教育学特殊演習 I、II、III	樋口 修資			各 4	
	教育学特殊演習 I、II、III	齋藤 政子			各 4	
	教育学特殊演習 I、II、III	板野 和彦			各 4	
	教育学特殊演習 I、II	羽矢 みずき			各 4	
	教育学特殊演習 I、II、III	島田 博祐			各 4	
教育学特殊演習 I、II、III	星山 麻木			各 4		

### (2) 修了要件

本学通信制大学院 博士後期課程の修了要件は、次の通りです。

①3年以上在学することが必要です。

②修得単位について、以下の条件を満たし、合計 24 単位以上修得することが必要です。

1) 「教育学特殊研究科目」は、指導教員の研究領域から担当科目を含む 2 科目 (8 単位) を修得し、さらに同一研究領域または他の研究領域から 1 科目 (4 単位) の合計 3 科目 (12 単位) 以上の修得。

2) 指導教員が担当する「教育学特殊演習 I、II、III」を各 4 単位合計 12 単位の修得。

③博士学位請求論文を提出し、学位論文審査及び最終試験 (口頭試問) に合格することが必要です。



例) 「授業研究領域」を専攻している場合

授業特殊研究科目 (専攻研究領域)

2科目 (8単位)



指導教員の授業特殊研究科目



指導教員以外の授業特殊研究科目

専攻研究領域、または他の研究領域の

特殊研究科目: 1科目 (4単位)



授業研究領域 (専攻研究領域) 科目

or



幼児教育研究領域の科目

or



障害児者教育研究領域の科目

教育学特殊演習 I ~ III : 3科目 (12単位)

(指導教員が担当)



=合計24単位以上

(3) 修了までの流れ (概要)



#### (4) 履修条件

- ①特殊研究科目は年間 16 単位まで履修することができ、3 年間で最大 48 単位まで履修可能です。履修した科目は、当該年度内のみ有効です。
- ②年度内に単位を修得できなかった科目で、引き続き学習し、単位を修得したい場合は、翌年度、再履修してください。再履修科目についても、年間の制限単位数（16 単位）の中に含まれます。
- ③年度途中での追加履修はできません。あらかじめご注意ください。
- ④教育学特殊演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ（博士論文研究）は年次進行により 4 単位ずつ履修します。年間制限単位数の 16 単位には含まれません。

#### (5) 教育学特殊演習

- ①教育学特殊演習科目は博士論文研究となります。
- ②「教育学特殊演習Ⅰ」は、各自の指導教授が担当する博士前期課程のスクーリングを受講することにより、2 単位分を充当します（スクーリング日程は、部報「めいせい」を参照してください）。
- ③「教育学特殊演習Ⅰ」では 2 単位分相当、「教育学特殊演習Ⅱ・Ⅲ」においては 4 単位分相当の博士論文研究指導（面接・通信）を指導担当教員より受けることとなります。
- ④研究指導は「教育学特殊演習指導報告票」に記録をし、「教育学特殊演習（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）指導報告票」は 3 月末までに事務局へ提出をしてください。但し当該年度に博士論文を提出される方については、教育学特殊演習Ⅲの指導報告票を博士論文提出時に併せて事務局大学院担当に提出してください。